

春の山頂で起こったアゲハ、キアゲハ、そしてヒメギフチョウの三つ巴 2015年4月24日 宮城県仙台市 写真/伊勢利希

チョウの舞う 自然

THE JAPAN BUTTERFLY
CONSERVATION SOCIETY
NEWSLETTER NO.28

日本チョウ類保全協会 会誌28号
June 2019

CONTENTS

- 02 海野和男が語るチョウの魅力
ビクトリアトリバネアゲハ
 - 04 チョウの保全の現場から
～できていることとできていないこと～
 - 10 苦戦するウスイロヒョウモンモドキの
保全活動
 - 16 ウスイロヒョウモンモドキの
飼育下繁殖の限界
 - 24 庭のチョウ類調査の結果
-
- 15 お知らせ①
 - 21 お知らせ② 事務局の動き
 - 22 イベントの報告

表紙：ゴマシジミ



幼虫はクシケアリ類の巣に運ばれアリの卵や幼虫を食べる、珍しい習性の蝶。ワレモコウが生えるススキ草原に生息する。近年では良好な草原が減少し、個体数が激減している。翅の模様の地域変異が著しく、中国山地ではこのように大型で、翅表の青色部が発達する。

暑い盛りの8月の朝、ブユの攻撃に耐えながら生息地のススキ草原を歩き廻り、ようやく出会った個体が朝日を浴びて翅を開く。暑さや疲れも忘れる、至高の瞬間が訪れた。

鳥取県 2016年8月6日
写真・文/板野 隆